

令和5年度進行管理 戦略点検シート

◎基本政策 2 健康で安心な生活基盤の整備

主要課題	No. 26	区民の主体的な生活習慣の改善
-------------	--------	----------------

● 4年後の目指す姿・計画期間の方向性 ●		主要課題の戦略シートで設定している「4年後の目指す姿」と「計画期間の方向性」を転記しています。
4年後の目指す姿	健康の保持増進のため、区民一人ひとりが、健康的な生活習慣の必要性を理解し、主体的に健康管理を行っている。	
計画期間の方向性	○区民の生活習慣改善の促進 区民の健康の保持増進のため、適切な食習慣の改善や運動習慣の定着など、健康的な生活習慣の必要性を周知するとともに、日常的に運動ができる機会等を提供し、意識的な生活習慣改善を促します。 ○特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の向上 生活習慣病の早期発見のため、特定健康診査や特定保健指導の勧奨等により、受診率や実施率の向上に取り組み、重症化予防を推進します。	

0 昨年度の施策の方向性（昨年度の点検における「4 今後どのように進めていくか」）	
コロナ禍でも実践できる運動や身体活動量を増やす体操等の啓発資材の充実を図るとともに、運動等についての正しい知識の普及と習慣化への支援を推進します。 また、健診実施医療機関での感染対策を周知徹底しつつ、引き続き区民への受診の呼びかけを行い、感染症による受診控えが減少するよう努めます。 特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の更なる向上を図るため、区内医師会等の医療関係機関と連携するとともに、データヘルス計画に基づく取組を進めます。	

事業費（令和4年度） 上段：実績 下段：当初予算

1 どのような事業で・何をしたか（実績）		戦略シートの課題の解決手段として紐づけた計画事業について、「何をしたか」「何がどうなったか」を記しています。							
事業番号	事業名称	所管課	事業の持つ役割					事業費(千円)	
98	生活習慣病予防事業	保健サービスセンター	区民の意識的な生活習慣の改善を促す。					1,979千円	
								(3,377千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 生活習慣病予防事業（予防教室等）参加者数		人	806	642	中止	中止	350	
	② 事業参加者の運動習慣の定着率		% (回答者数)	90.8 (727)	87.4 (603)	中止	中止	98.0 (301)	
R2(2020)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、生活習慣病予防事業は全事業中止し、代替えとして自宅でできる運動メニューや体重コントロールについての資料をホームページで紹介、動画配信したほか、令和2年11月からは個別運動指導に切り替えて実施しました。								
R3(2021)	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、代替として医師、栄養士による講演会の動画配信及び自宅でできる運動メニューについて個別運動指導を実施しました。								
99	健康づくり事業	保健サービスセンター	運動・栄養などについての指導や、日常的な運動の機会を提供する。					33,229千円	
								(41,065千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 健康検査参加者数		人	330	329	27	中止	294	
② 自主トレーニング利用者数		人	18,068	15,968	2,060	中止	3,173		
③ 健康づくり運動教室参加者数		人	420	366	中止	中止	中止		

100	食育普及	健康推進課	食に関する興味と意識の向上を図るとともに、食環境を整備する。					1,969千円 (3,325千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 食育サポーター（ぶんきょう野菜大使）人数		人	209	267	55	105	138	
	② 食育イベントへの来場者数		人	3,467	3,404	中止	2,317	3,171	
	R2(2020)	中止とした食育イベントの代替として、食育サポーターから募集した家庭でできる野菜レシピをホームページで公開し、区内保育園・小学校等にはチラシを配布することで、子育て家庭を中心に広く、食育の推進につなげました。							
R3(2021)	食育サポーターから募集した「おうち野菜レシピ」を区内保育園・小学校等に周知し、子育て家庭を中心に広く食育の推進につなげました。また、食育イベントは従来の来場形式から専用WEBサイトにおけるテキスト掲載や動画配信に変更し、野菜摂取量の少ない若年層に情報提供を行いました。								
R4(2022)	食育サポーターから募集した「おうち野菜レシピ」を園児・学童のいる子育て家庭に配付したほか、区内大学学園祭に出展した際に周知し、野菜摂取量の少ない20代～40代を中心に食育の推進につなげました。食育イベントは、専用WEBサイトと会場のハイブリッド形式で開催し、より広い世代に対して情報提供を行いました。								
101	特定健康診査・特定保健指導	健康推進課・国保年金課	生活習慣病の発症や重症化を予防するとともに、健康に対する意識の醸成を図る。					378,595千円 (413,831千円)	
	主な取組実績		単位	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	① 特定健康診査受診率		%	44.8	44.9	39.8	43.0	43.2 (暫定値)	
② 特定保健指導実施率		%	22.7	12.4	14.6	11.9	7.2 (暫定値)		
●特記事項（実績の補足）									

2 現総合戦略において、社会ではどのような動きがあったか（社会環境等の変化）		人口の増減や、国や都の動きなど、主要課題の背景に関して、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「何があったか」「今後予想される」等の社会の変化を捉えています。
チェック	チェック項目	
有	主要課題に関連する法改正があった（今後、法改正がある）	
有	主要課題に影響を及ぼす変化等があった（今後、変化等の可能性がある）	
<p>特定健診及び特定保健指導の実施に関する基準の見直しについて改正省令・改正告示が令和5年3月31日に公布されました。</p> <p>コロナ禍では外出自粛等の影響で、運動不足による体力低下や生活習慣の乱れが懸念されました。</p>		

3 現総合戦略における成果や課題は何か (点検・分析)

1と2に基づき、計画期間の方向性ごとに、令和2年度から5年度までの現総合戦略の計画期間において、「課題解決にどのような成果があったか」「成果が出ない要因は何か」「新たな課題が生じていないか」などを点検・分析します。

○区民の生活習慣改善の促進

特定健康診査対象者に向けて疾病リスクとの関係や特定健康診査に関する分かりやすい情報提供を行うことで、健康意識の向上に寄与しました。また、令和3年度からは保健指導の対象となっていませんが、一定のリスクがある方に対して、疾病リスクや生活習慣についての見直しのきっかけとなるよう、生活習慣改善アドバイスシートの送付を新たに開始し、取組を拡充しました。

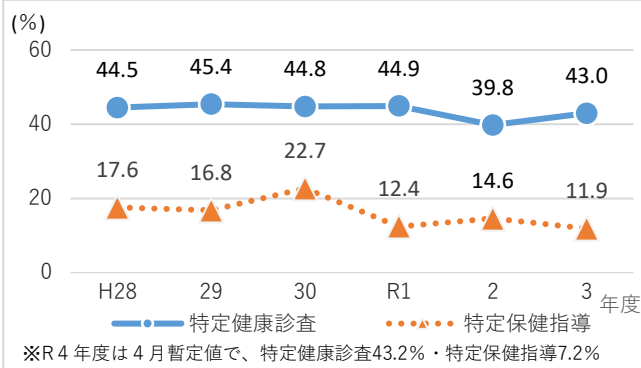
○特定健康診査の受診率・特定保健指導の実施率の向上

特定健康診査は、新型コロナウイルス感染症による影響が見られ、受診率がやや低下しています。効果的な受診勧奨を行うため、令和3年度からは連続未受診者を対象とし、勧奨ハガキの送付等を行いました。

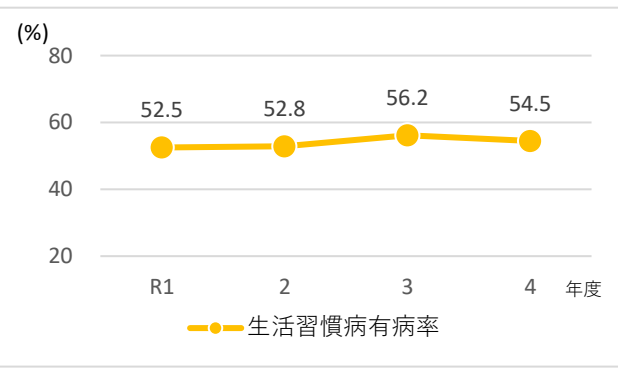
引き続き、特定健康診査の重要性等についてわかりやすい情報提供を行うとともに、特定保健指導対象者については、指導の重要性をわかりやすく周知し、対象者の特性や受診状況に応じた効果的な受診勧奨を推進していく必要があります。

また、保健指導についてはWEBによる遠隔面談を積極的に活用する等、対象者の希望にあわせた柔軟な対応を進め、実施率の向上を図る必要があります。

●特定健康診査・特定保健指導の実績



●被保険者全体に占める生活習慣病患者の状況



4 次期総合計画において、どのように進めていくか (展開)

3を踏まえ、「何の対応が必要か」「何をどのようにしていくか」など、令和6年度から9年度までの次期総合計画の計画期間における戦略としての進め方を記しています。

区民に対し健康管理のための健診診査を受診するよう工夫した呼びかけを行い、健康診査の受診率及び保健指導の実施率向上に努めていきます。

令和6年度からを計画期間とする次期特定健康診査等実施計画及びデータヘルス計画に基づき、区内医師会等の医療関係機関と連携しながら、特定健康診査の受診率及び特定保健指導の実施率の更なる向上を図ります。

5 6年度、事業をどうするか (事業の見直し)

主要課題に紐づけられている個々の計画事業の6年度の検討の方向性を「継続」「レベルアップ」「見直し・縮小」「事業終了」「計画変更」で記します。

事業番号	計画事業名	所管課	次年度の方向性
98	生活習慣病予防事業	保健サービスセンター	継続
99	健康づくり事業	保健サービスセンター	継続
100	食育普及	健康推進課	継続
101	特定健康診査・特定保健指導	健康推進課・国保年金課	継続